

電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

2008年4月10日

発行者 ELIC編集委員会谷口利男
108-0073 東京都港区三田3-2-20
(03)3455-6006 Fax3451-3595
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

ELIC

No 244

1部100円

労働分野のCSRを守らせる闘い

電機懇「労働CSR」学習会、9職場・2団体24名参加



電機労働者懇談会（電機懇）は、3月22日（土）午後1時40分～4時35分にかけて東京・三田福祉会館にて、電機ユニオンとの共催で「労働CSR（労働分野に関するCSR）」学習会を開催しました。このつどいには、9職場・2団体から24名が参加しました。

司会は、高田電機懇本部事務局員が行い、開会挨拶は、今井電機懇本部代表が行いました。

報告は、電機懇「労働CSR」政策提言と電機大手各社の「CSR実態調査結果」の特徴について井坂電機懇本部政策委員長が行いました。（政策提言の全文はHPに掲載予定）

講演は、「企業の社会的責任（CSR）と労働者のたたかい」と題して労働総研代表理事熊谷金道さん（全労連前議長）に行なって頂きました。

討論は、日立、東芝、NEC、富士電機、松下電器の職場から質問も含め実態報告を中心に行なわれました。

閉会挨拶は、電機ユニオン（関東）東委員長が行いました。

今月号の紙面

- ①電機懇「労働CSR」学習会
- ②労働CSR学習会の内容
基調報告と提言のポイント
- ③08春闘の低額回答に抗議
- ④東芝差別争議の合意成立
- ⑤NECの雇用延長の闘い
- ⑥「車と旅行」高田氏
- ⑦松下電器、成果主義の導入
沖電気関連で闘いの成果
- ⑧掲示板、OAKの定年慰労会
集積回路